

令和5年度
病院事業会計決算説明資料

1	県立3病院の概要	2
2	令和5年度事業概況	3

1 県立3病院の概要

(令和6年9月1日現在)

病院名	中央病院	こころの医療センター	こども病院
所在地	笠間市鯉淵6528	笠間市旭町654	水戸市双葉台3丁目3番地の1
沿革	<p>昭和31年1月 茨城県立友部療養所開設</p> <p>32年10月 茨城県立中央病院と改称</p> <p>36年10月 産婦人科外7科開設し総合病院となる</p> <p>52年3月 救急告示病院に指定</p> <p>61年8月 改築工事着工 63年6月新病院開設</p> <p>平成5年4月 臨床研修病院に指定</p> <p>7年4月 地域がんセンター開設</p> <p>9年1月 災害拠点病院に指定</p> <p>9年4月 500床稼働</p> <p>9年6月 臓器移植法による臓器提供施設に該当</p> <p>11年12月 難病医療拠点病院の指定</p> <p>18年3月 PET/CT稼働開始</p> <p>19年1月 相談支援センター開設</p> <p>20年2月 都道府県がん診療連携拠点病院の指定</p> <p>20年12月 化学療法センター、透析センター開設</p> <p>21年4月 放射線検査センター開設、DPC導入</p> <p>21年8月 7:1看護基準取得</p> <p>22年3月 電子カルテシステム運用開始</p> <p>23年2月 救急センター開設</p> <p>23年4月 循環器センター開設、ヘリポート稼働開始</p> <p>23年5月 地域医療支援病院の承認</p> <p>25年5月 緩和ケア病棟の開設</p> <p>25年8月 強度変調放射線治療（IMRT）の開始</p> <p>25年9月 ダヴィンチ手術の開始</p> <p>28年10月 助産施設に位置付け</p> <p>29年4月 歯科口腔外科開設</p> <p>30年1月 研修棟開所</p> <p>30年4月 専門研修プログラム基幹施設の認定（内科、外科）</p> <p>30年10月 がんゲノム医療連携病院の指定</p> <p>令和2年12月 新型コロナウイルス感染症対応発熱外来棟（仮設）設置</p>	<p>昭和25年5月 茨城県立内原精神病院開設</p> <p>35年8月 茨城県立友部病院開設</p> <p>50年12月 デイ・ケアセンター竣工</p> <p>61年3月 レクリエーションセンター竣工</p> <p>平成元年10月 応急入院指定病院に指定</p> <p>7年8月 訪問学級開始（友部東養護学校）</p> <p>8年10月 精神科救急業務開始（休日・昼間）</p> <p>14年7月 児童思春期病棟開設</p> <p>16年3月 精神科救急（平日夜間）開始</p> <p>17年7月 医療観察法による鑑定入院医療機関の受入れ及び通院医療機関の指定</p> <p>19年4月 警察官通報に基づく自傷他害の恐れのある精神障害者の24時間365日措置入院対応開始</p> <p>20年8月 精神科救急入院料（スーパー救急）の取得</p> <p>21年8月 新病院新築工事着工</p> <p>23年4月 福祉連携サービス部設置</p> <p>アウトリーチ（訪問支援）活動の開始</p> <p>23年10月 新病院開院、医療観察法病棟稼働開始、電子カルテシステム運用開始</p> <p>24年10月 精神科ネットワーク医療連携の取組み開始</p> <p>26年8月 精神科救急病棟スーパー救急の拡充（45→85床）</p> <p>27年4月 茨城県睡眠医療センター開設</p> <p>28年12月 茨城県立睡眠医療クリニックを水戸市大工町に開設、</p> <p>29年1月診療開始</p> <p>30年4月 専門研修プログラム基幹施設の認定（精神科）</p> <p>令和3年3月 災害拠点精神科病院の指定</p> <p>4年3月 茨城県立睡眠医療クリニックを廃止</p>	<p>昭和60年4月 茨城県立こども病院開設</p> <p>63年3月 無菌室完成（22.6㎡）骨髄移植開始</p> <p>平成2年8月 臨床研修病院の指定</p> <p>7年9月 増床工事完了</p> <p>9年4月 100床稼働</p> <p>10年6月 臍帯血移植開始</p> <p>10年6月 心臓血管外科開設</p> <p>11年8月 ファミリーハウス運営開始</p> <p>16年8月 小児救急業務開始</p> <p>18年4月 恩賜財団済生会へ指定管理業務委託</p> <p>18年4月 発達障害外来開設</p> <p>19年4月 成育在宅支援室設置</p> <p>20年4月 予防接種センター開設</p> <p>21年5月 GCU増床（24→27床）、108床稼働</p> <p>22年5月 ファミリーハウス新築棟運用開始</p> <p>22年6月 増築棟運用開始</p> <p>22年7月 脳神経外科手術の本格開始</p> <p>22年11月 NICU増床（12→15床）</p> <p>23年2月 電子カルテシステム運用開始</p> <p>23年10月 115床稼働</p> <p>25年10月 リハビリテーション外来の開始</p> <p>26年1月 病院内共用スペースリニューアル工事の開始</p> <p>28年1月 工事完成</p> <p>29年4月 専門研修プログラム基幹施設の認定（小児科）</p> <p>30年1月 病床再編（NICU15→18床、GCU24→18床、2階病棟76→79床）</p> <p>30年12月 ICU病棟（6床）整備</p> <p>31年4月 小児整形外科開設</p> <p>令和1年11月 小児がん連携病院指定</p> <p>2年11月 地域医療支援病院の承認</p> <p>3年4月 遺伝子診療・相談センター開設</p>
病院の機能	本県の中核的な総合病院として、がん医療、救急医療などをはじめとする高度・専門・特殊な医療提供を行う。	本県の精神科医療の基幹病院として精神科救急医療や児童・思春期医療などの専門的な医療提供を行う。	本県の小児医療の中核的な専門病院として、重篤・難治な患者を対象に、高度かつ専門的な医療提供を行う。
病床数及び職員数	病床数 500床 職員数 1,323名 (R6.3.31現在)	病床数 276床 職員数 310名 (R6.3.31現在)	病床数 115床 職員数 305名 (R6.3.31現在)
診療科目	<p>【36診療科】</p> <p>内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、循環器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、歯科口腔外科</p>	<p>【4診療科】</p> <p>精神科、児童精神科、心療内科、神経内科</p>	<p>【19診療科】</p> <p>小児内科、新生児内科、小児血液腫瘍内科、小児循環器内科、小児神経心療内科、小児内分泌・代謝内科、小児感染症内科、小児腎臓内科、小児アレルギー科、小児救急科、小児外科、新生児外科、小児泌尿器科、小児脳神経外科、心臓血管外科、小児形成外科、小児整形外科、麻酔科、放射線科</p>

2 令和5年度事業概況

中央病院	こころの医療センター	こども病院
<p>1 実績</p> <p>(1) 患者数 入院： 1日平均332人 外来： 1日平均898人</p> <p>(2) 患者1人当たりの診療単価 入院： 79,460円 外来： 27,118円</p> <p>2 収益的収支の状況^{※1} 収入：19,076百万円 支出：19,072百万円 差引： 4百万円</p> <p>3 資本的収支の状況^{※1} 収入： 972百万円 支出： 1,588百万円 差引： △616百万円</p> <p>(参考) 繰入金の状況 医療分^{※3}： 2,314百万円 教育・研修事業分^{※4}： 422百万円 合計： 2,736百万円</p>	<p>1 実績</p> <p>(1) 患者数 入院： 1日平均197人 外来： 1日平均282人</p> <p>(2) 患者1人当たりの診療単価 入院： 27,803円 外来： 7,446円</p> <p>2 収益的収支の状況^{※1} 収入： 3,750百万円 支出： 3,851百万円 差引： △101百万円</p> <p>3 資本的収支の状況^{※1} 収入： 174百万円 支出： 271百万円 差引： △97百万円</p> <p>(参考) 繰入金の状況 医療分^{※3}： 1,043百万円 教育・研修事業分^{※4}： 71百万円 合計： 1,114百万円</p>	<p>1 実績</p> <p>(1) 患者数 入院： 1日平均 88人 外来： 1日平均189人</p> <p>(2) 患者1人当たりの診療単価 入院： 102,328円 外来： 23,361円</p> <p>2 収益的収支の状況^{※1、※2} 収入： 1,342百万円 (5,863百万円) 支出： 1,580百万円 (6,101百万円) 差引： △238百万円 (△238百万円)</p> <p>3 資本的収支の状況^{※1} 収入： 539百万円 支出： 719百万円 差引： △180百万円</p> <p>(参考) 繰入金の状況 医療分^{※3}： 1,189百万円 教育・研修事業分^{※4}： 67百万円 合計： 1,256百万円</p>

※1：収益的収支及び資本的収支の状況については、税抜きで作成したもの。

※2：()内の数値は、こども病院の病院全体の状況を表すため、県及び指定管理の数値を合算したもの。

※3：救急医療、精神、小児など政策医療の提供に要する経費、建物等の償還金のうち国の繰出基準に該当する経費、病院局設置前の一般会計在職期間等に係る退職給与金などに対する繰入金。

※4：研修医の指導医人件費など、医療人材の教育や研修に要する経費に対する繰入金。